

SAIKI CAD ARCHITECTURE OFFICE

Ⅰ. 工 事 概 要

1. 工事名称

八次小学校屋内運動場天井改修工事

2. 工事場所

三次市鳥数町1725-1

3. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備 考
屋内運動場					

4. 工事種目

(〇印の付いたものが対象工事種目)

建物別及び屋外	工 事 種 別				
工事種目	屋内運動場				
〇 電灯設備	改設一式				
・ 動力設備					
・ 電熱設備					
・ 電保護設備					
・ 受変電設備					
・ 電力貯蔵設備					
・ 発電設備					
・ 構内情報通信網設備					
・ 構内交換設備					
・ 情報表示設備					
・ 映像・音響設備					
・ 拡声設備					
・ 誘導支援設備					
・ テレビ共同受信設備					
・ 監視カメラ設備					
・ 駐車場管制設備					
・ 防犯・入退室管理設備					
〇 火災報知設備	改設一式				
・ 中央監視制御設備					
・ 医療関係設備					
・ 構内配電線路					
・ 構内通信線路					

5. 指定部分

※ 無し ・ あり (工期 令和 年 月 日)

対象部分:

(改修工事の場合の部分使用 ※ 無し ・ あり)

Ⅱ. 工 事 仕 様

1. 共通仕様

(1)特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）」）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成31年版）」（以下「標準図」という。）による。
(2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
(3)本工事は工事中及び完成後に必要に応じ次の調査を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。
ア 公共事業労務費調査…工事中に実施（調査票の記入提出、発注者実施への協力等）
イ 契約不適合調査…建設工事請負契約約款第46条の5に定める期間内

2. 特記仕様

(1)項目は、番号に〇印の付いたものを適用する。
(2)特記事項のうち選択する事項は〇印の付いたものを適用する。ただし、〇印のない場合は※印を適用する。
(3)標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。

項 目	特 記 事 項
① 施工条件	現場説明書による。
2. 工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を監督職員に提出する。
3. 施工調査	施工に先立ち、改修工事関連（施工部位により既存性能を損なうおそれのある）部分の事前調査を行い監督職員に報告書を提出する。（・ 調査を行う前に監督職員に調査計画書を提出する。 撤去する機器類等について、製造年、品番等を確認し特別管理産業廃棄物の有無を調査し、監督職員に報告する。・ 微量PCB含有機器・変圧器・アスベスト含有設備資機材（・配線用遮断器・）
④ 発生材の処理	引渡しを要するもの ※無・有（・金属類・盤類・電線・ケーブル・） 特別管理産業廃棄物 ※無・有・本工事において調査を行う。（・PCB使用機器・アスベスト含有設備資機材（・配線用遮断器・）） 特別管理産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理する。 工事中、特別管理産業廃棄物が発生すると判明した場合、その処理方法は監督職員と協議する。 放射性物質を含むイオン化式感知器 ※無・有 製造業者又は販売業者に回収を委託する。（・別途 ※本工事） 再生資源化を図るもの ※無・有（・蛍光管・HIDランプ・小型二次電池・） (1)本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。 (2)本工事における再生資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、（1）に掲げる施設のうち受入れ条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再生資源化に要する費用（単価）は変更しない。 (3)本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事では、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。
⑤ 機材の品質等	(1)本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。ただし、製造業者等が記載されている場合に同業者を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 また、国等による環境物品等の調達推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づき策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。 (2)別表－1に示す機材等を使用する場合は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備されていること ②生産施設及び品質の管理が適切に行なわれていること ③安定的な供給が可能であること ④法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること ⑤製造又は施工の業績があり、その信頼性があること ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。

Ⅲ. 一 般 共 通 事 項

⑥ 完成時の提出書類等

※建築工事に準ずる

(1) 工事完成図書引渡書A4版 2部
(2) 完成図書 1部
(3) 完成図面・施工図面二折り製本A3版製本 1部
(4) 縮小完成図面・施工図面二折り製本A4版製本 2部
(5) 工事写真 2部
(工事中写真A4版カラーサービス版) 1部
(完成写真A4版カラーサービス版) 2部
(6) 電子成果品（電子納品）CDR 2部
(7) 工事監理図書A4版 1部
(8) 工事概要調書A4版 2部
(9) 諸官庁届出書類一覧表A4版 1部
諸官庁届出書類(正)A4版 1部
(10) 運転操作説明書A4版製本・取扱説明書 1部
(11) 展開接続図A3版製本 部
(12) 保全管理台帳A4版・設備台帳A4版 部
(13) 型式台帳 式
※型式台帳は、監督職員が指定する様式で作成する。建物で使用する部材、機器を記入し提出すること。
※建築工事に伴う工事の提出部数は、建築工事に合わせる。
※工事写真は「営繕工事写真作成要領」によるほか監督職員の指示による。
※既存完成図（CADデータ含む）の修正を行う（間仕切・室名も現状に合わせて修正する）。

⑦ 施工図等

別契約の関係工事との取合いを十分に打合せ、各現場代理人捺印の上提出する。なお、当該建物の取得する施工図の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
本工事で設置する。 ・外部足場（ 種） ・内部足場（ 種）
本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
本工事で設置する
構内につくることができる
※ 現場説明書の施工条件明示による
・ 構内指示場所に敷き均し
・ 構内指示場所に堆積

8. 足場

⑨ 工事用電力、水、その他

本工事で設置する

10. 監督職員事務所

11. 受注者事務所その他

⑫ 建設発生土の処理

13. 非破壊検査

はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い監督職員に報告する。検査方法は電磁誘導式を原則とする。放射線透過検査等による理地物の調査実施する場合、範囲は監督職員の指示による。なお、検査費は別途とする。

14. 既存躯体への穿孔

穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工すること。

15. あと施工アンカー

施工後確認試験
試験方法 引張試験機による引張り試験
試験面所数 1 施工単位に対し1本以上
対象機器（ ・配電盤 ・非常用発電機 ・直流電源装置 ・変圧器 ・ ）
確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上
最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。
設備機器の固定は次に示す設計用地震力に耐える方法とする。
ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造業者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。
(1) 機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器重量 [kN] に、地域係数（・1.0 ※0.9 ・0.8）と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。
設計用標準水平震度

⑬ 電線類

⑭ ケーブルの種類

EM-高圧架橋*リシフケーブルは、JIS4935「6600V架橋*リシフケーブル」（3層押出型）によるものとし、次にやる。
呼称(図示記号) 種 類
6kV EM-GE (EE) 6600V 架橋*リシフ絶縁耐燃性*リシフケーブル (6600V GE/F (EE))
6kV EM-GEI (EE) 6600V H*リシフ架橋*リシフ絶縁耐燃性*リシフケーブル (6600V GE/F (EE))

⑮ 電線本数・管路等

21. 露出配管の塗装

⑯ 屋外露出配管の仕上げ

⑰ フラッシュプレートの材質

⑱ ガッシュプレートの用途別表示

⑲ アルミの塗装

⑳ 屋上・屋側の支持金具等

27. 接地極

接地極の材料は次にやる。
接地の種類 記 号 接地抵抗値 ・ 接 地 極
・ 共 同 接 地 E₁₊₂ 10Ω以下 ・EB×3連－2組
・ 共 同 接 地 E₁₊₂₊₃ 10Ω以下 ・EB×3連－2組
・ A 種 E₁ 10Ω以下 ・EB×3連－2組
・ B 種 E₂ 10Ω以下 ・EB×2連－2組
・ C 種 E₃ 10Ω以下 ・EB×3連－2組
・ D 種 E₄ 100Ω以下 ・EB×1
・ 高 圧 避 電 器 E₅ 10Ω以下 ・EB×3連－2組
・ 交 換 機 用 E₆ 10Ω以下 ・EB×3連－2組
・ 通 信 用 E₇ 10Ω以下 ・EB×3連－2組
・ 通 信 用 E₈及びE₉ 100Ω以下 ・EB×1
・ 電話引込口の保安器用 E₁₀ 100Ω以下 ・EB×1
・ 測 定 用 E₁₁ — ・EB×1
・ — — — — —
(連結及び単独の場合、EBはD=14 L=1,500又はH=40 L=1,200とする)
(E₁、E₂、E₃、E₄、E₅の場合、EBはD=10 L=1,000又はH=30 L=900とする)

一 般 共 通 事 項

28. 他工事との取合い

29. 天井仕上げ区分

③ 配線図記号その他

(2) EMケーブルの表記は警報用及び同軸ケーブルを除き「EM-」を省略する。
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
(1) 風圧力
風速 (V₀ = 30・32・34 m/s) 地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ）
(2) 積雪荷重
建設省告示第1455号における区域 別表（ ）
長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。
2.5m以下のサドル及びダクターには保護を行う。
建築物（構造物）に直接設置するブルボックス、各種盤及びダクターには周囲にシール処理を行う。
工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他関係機関への必要な届出手続き等を遅滞なく行う。
現場の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する。
※工事名等の表示板（900mm×600mm） ・工事概要等の説明看板（900mm×600mm）
作業期間、交通誘導員を（人/日）配置すること。
(1)本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。
(2)本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/aspp/index.html
https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/nouhin/index02.html
(3)監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
(4)受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。
電子成果品を「営繕工事電子納品要領」に基づき作成する。
https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/nouhin/index02.html
※ 工事管理ファイル ・ 施工計画書 ・ 工程表 ・ 打合せ簿
※ 機材関係資料 ・ 施工関係資料 ・ 検査関係資料 ・ 発生材関係資料
※ 完成図 ・ 保全に関する資料 ※ 施工図 ※ 完成写真 ・ その他

③ 電子納品

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

② 照明器具

3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘導灯
自己点検送信器

① 配線器具

・ 接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。
・ 防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ ハーネスジョイントボックス用0Aタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色（ ・電球色 ※昼白色）
(2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定（100%点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

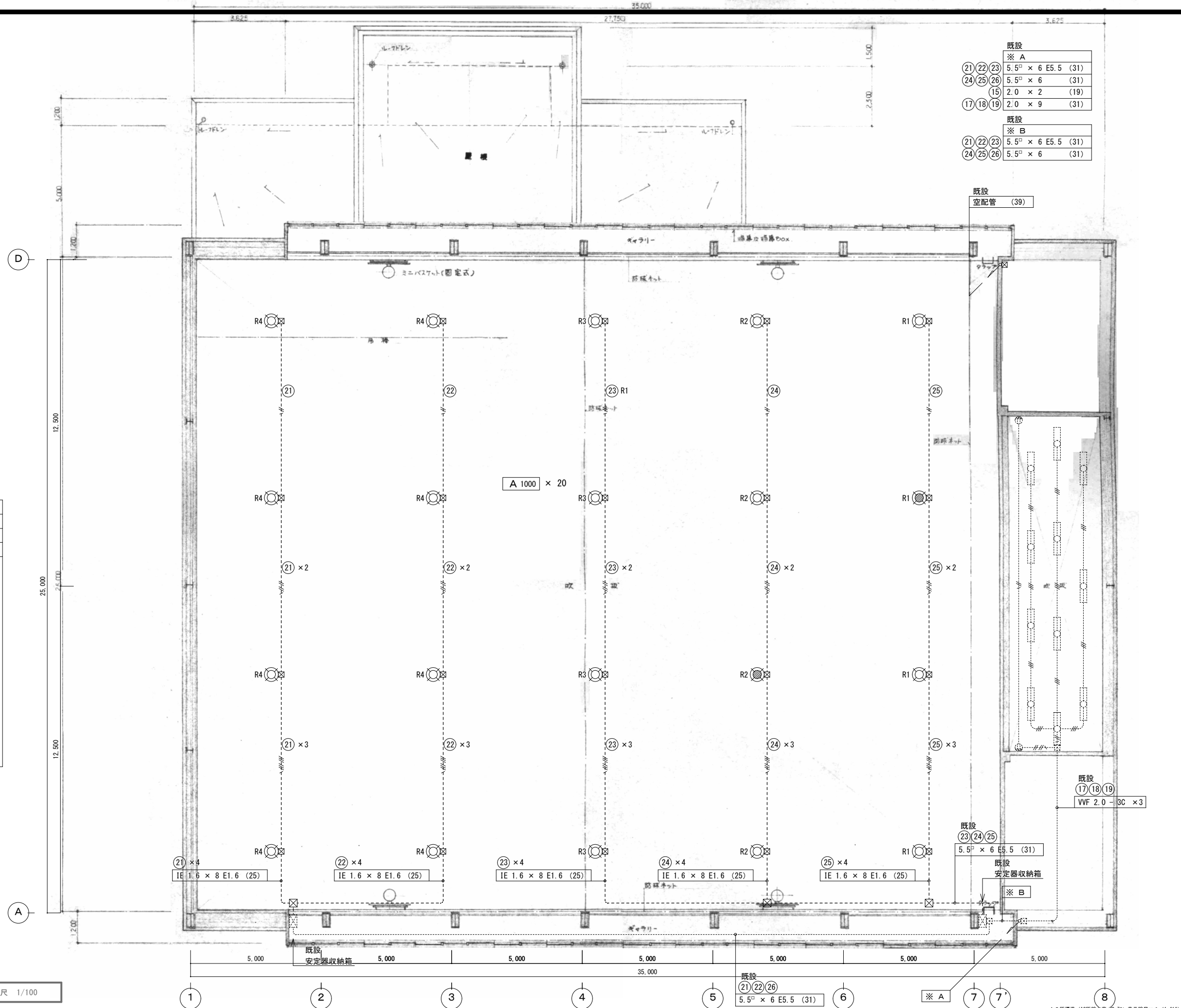
② 照明器具

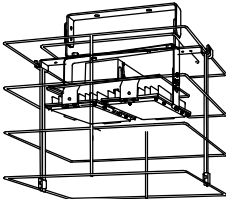
3. 照明制御の照度測定等

4. 照明制御装置設定器

5. 多通信伝送プロトコル送信器

6. 非常照明・誘

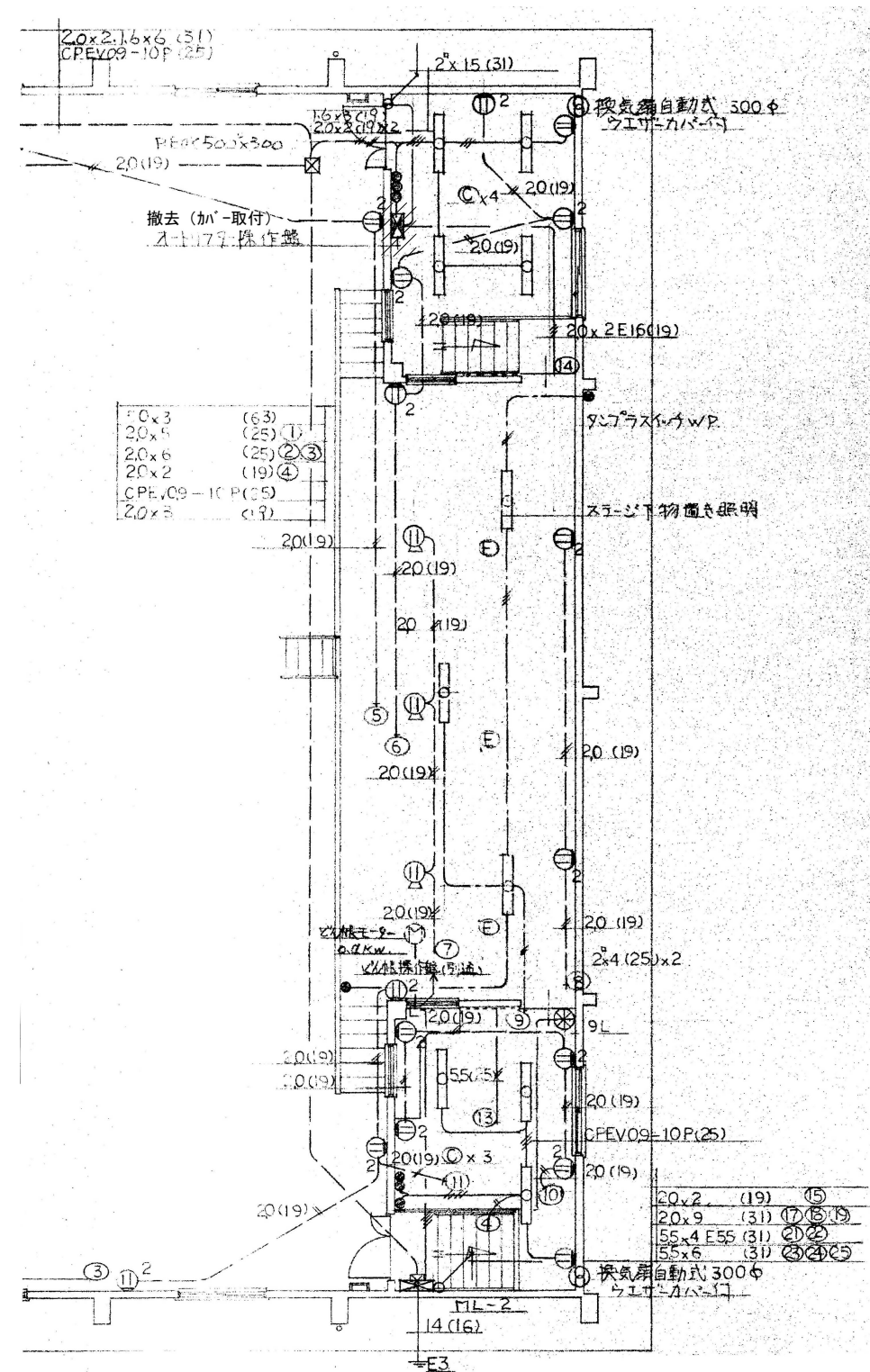
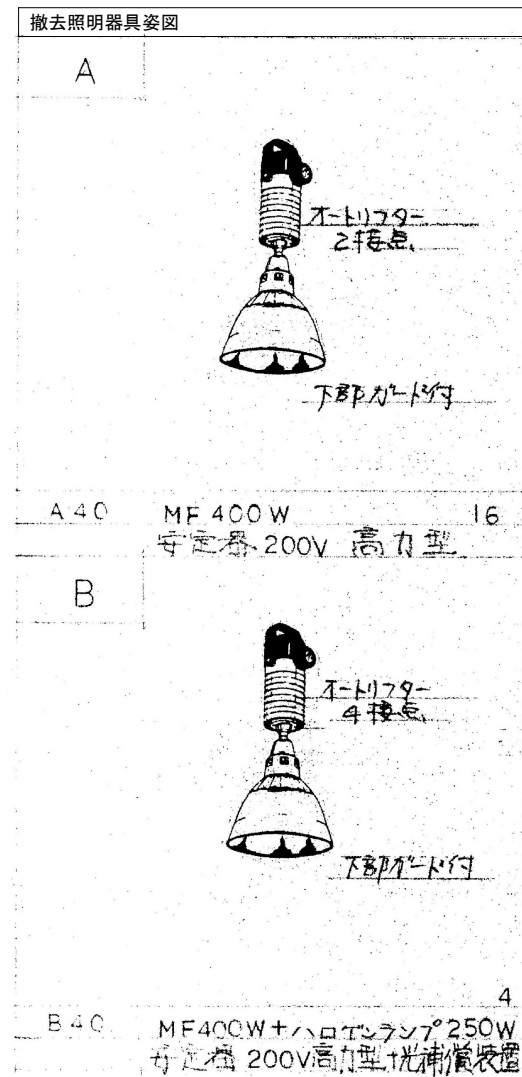


新設照明器具姿図	
A 1000	LED 高天井用照明器具 MF 灯 1000 形器具相当
	
<p>光束42300lm、消費電力230.2W、電圧200~242V 昼白色、5000K、Ra70、広角タイプ、直付型 光源寿命60000時間（光束維持率85%）、電源内蔵型 本体：7A・S・P・C・R・K・A・N・E・T（透明） 7-L：亜鉛鋼板 約5~85%連続調光初期照度補正型、落下防止ワイヤ・ガード付 器具本体（4.2kg）</p>	

注 記	
1. 特記なき配線配管は下記とする。	
---- /H ----	IE 1.6 × 2 E1.6 (E19)
--- //H ---	IE 1.6 × 4 E1.6 (E19)
--- /H / ---	IE 1.6 × 6 E1.6 (E19)

改修注記	
.....	既設配線配管
////////////////	撤去配線配管

ギャラリー 平面図 縮尺 1/100



平面图 1:100

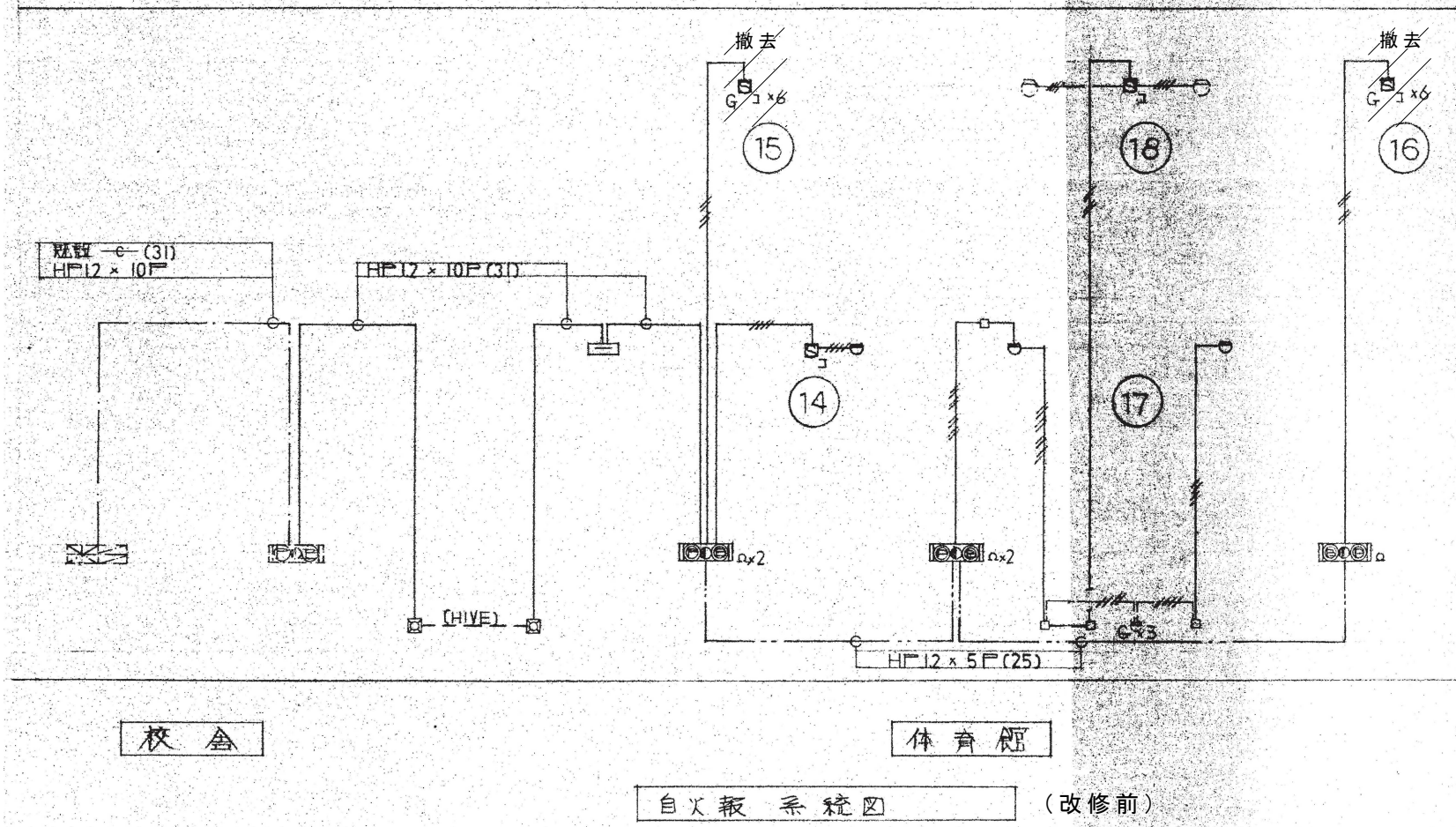


• 構造設計	
• 設備設計	

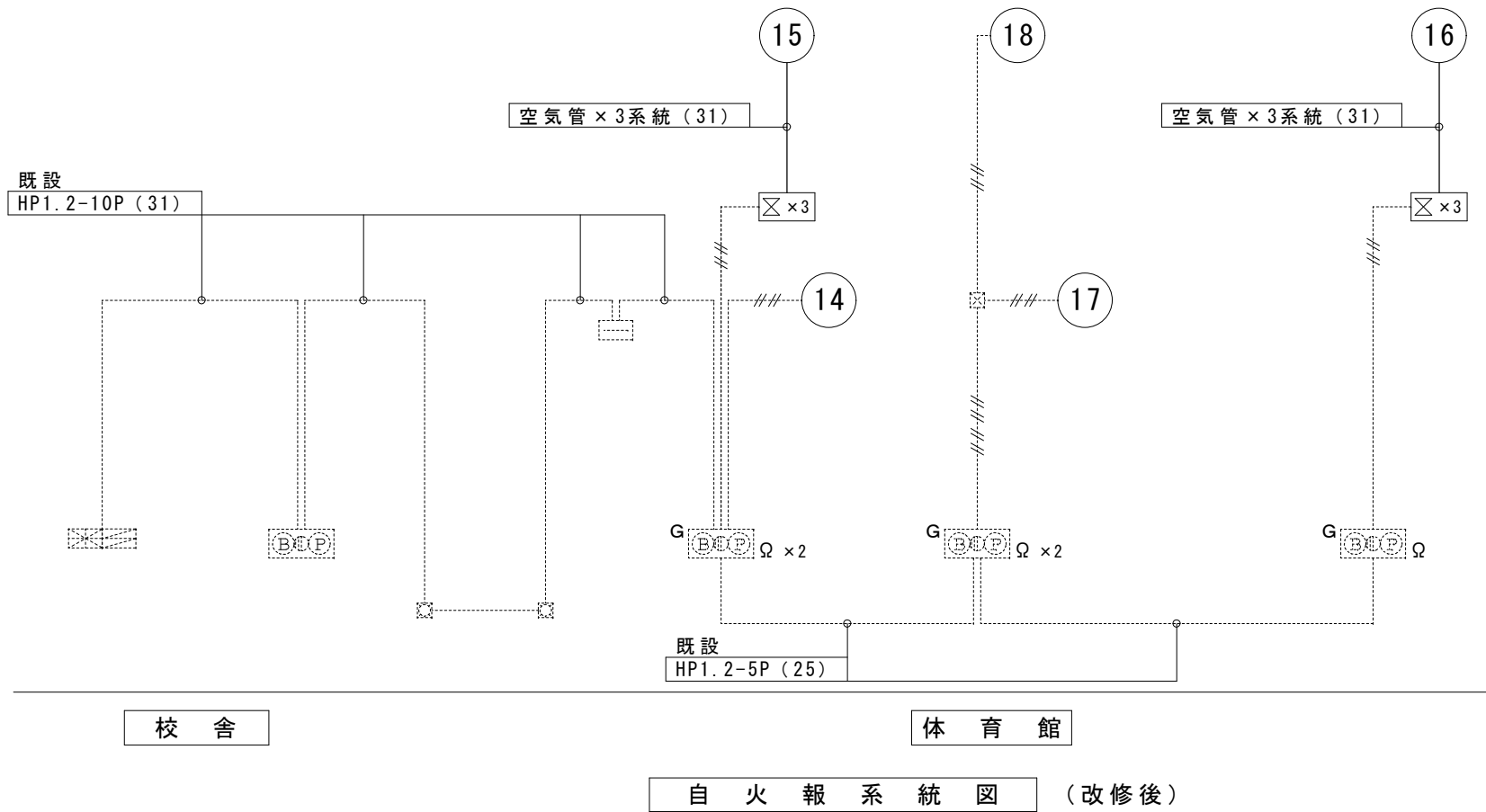
図面名称	電灯設備 ギャラリー 平面図 (改修前)	Scale=1:100
------	----------------------	-------------

検 印	製 図	作成年月日
		R 5.
		図面番号
		E-04

A 2 版標準 (A3 版縮小率 70.7% 表示縮尺 $\times 1/1.414$)



凡 例			
記号	名	称	備 考
	P型1級発信機	30回線	既設 20L 10L
	発信機	消火栓内蔵	既設 20L
	P型1級発信機		(ガード付)
	φ150mm 電鈴		DC-24V (
	表面灯		AC-24V (ガード付)
	終端抵抗		10KΩ
	差動式スポット型感知器		2 種
	△	上	△上 (ステップ)
	水 重 式 煙 感 知 器		2 種 ガード付
	警 戒 区 域 番 号		⑭ - ⑯
	△ 上 線		
	配管 配線		--- (体下) --- (体上)
	△ 上 立上り 立下り		
	空 気 管		二重天井内はケーブル転がし メッセンジャーワイヤー付
	差動式分布型感知器の検出部		2 種、露出型、△ x n ケ收容
	△ 検出部への引下げ箇所		配管にて保護
	既設配管・機器		



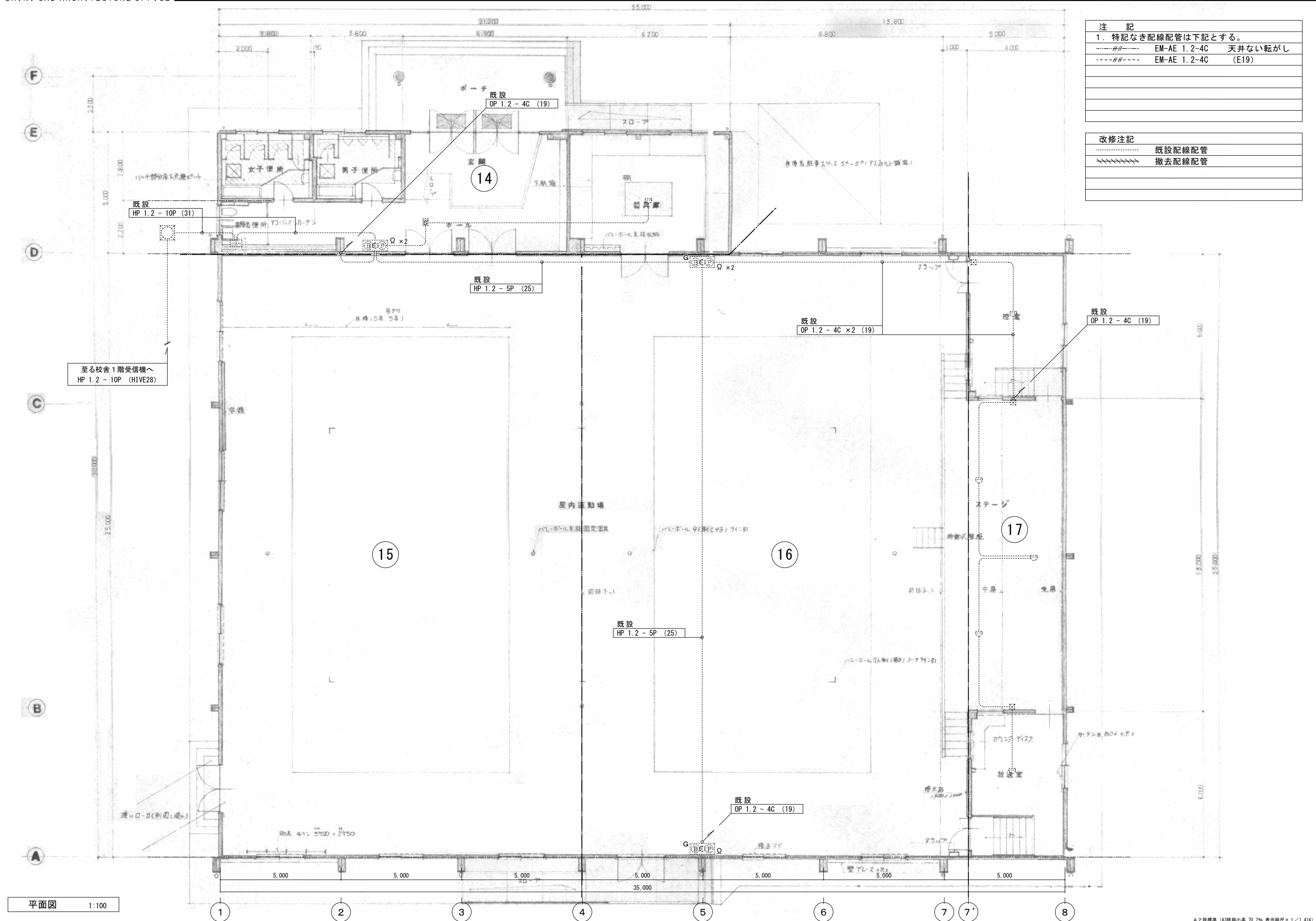
※ 作動分布型感知器は下記の通り施工のこと。

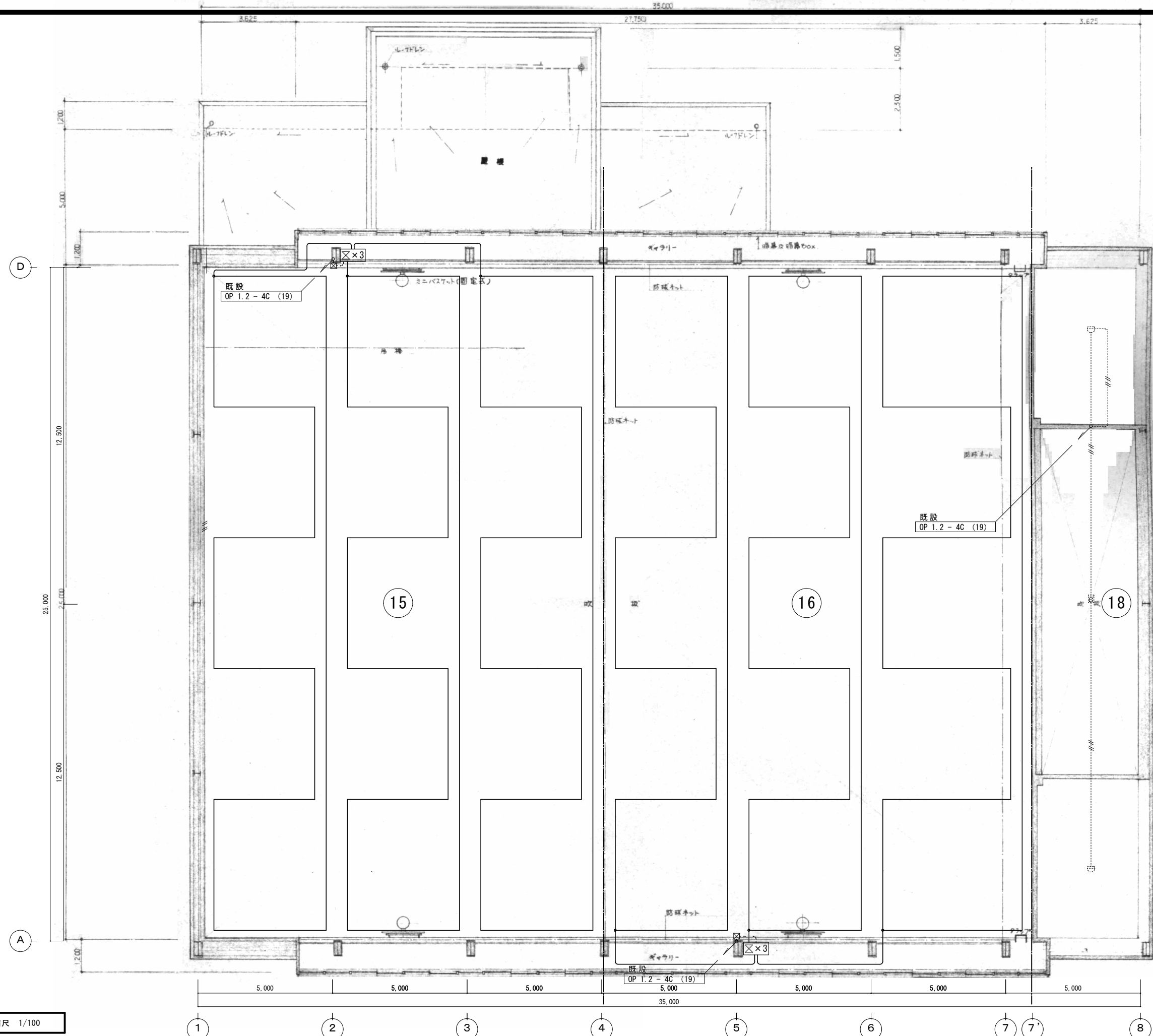
空気管は、取付面の下方0.3m以内の位置に設け、かつ感知区域の取付面の各辺から1.5m以内の位置に1本以上設けること。法的には斜線内の位置に空気管をもうければよい。通常は天井面と壁面の接点(コーナー)に取付ける。

● 空気管の露出部分は感知区域ごとに20m以上とすること。小部屋等で感知区域が小さく空気管の露出部分が20mに満たない場合は空気管をコイル状に巻いて全長を20m以上とする。
● 一つの検出器に接続する空気管の長さは100m以内とする。
● 空気管の検出部は垂直面に対して5度以上傾斜させないように設けること。

空気管の相互間隔：原則として相対する空気管の相互間隔が主要構造部を耐火構造とした防火対象物又はその部分については9m以下、その他の構造の防火対象物又はその部分については4.6m以下となるよう設けること。

感知区域は0.6m以上のり等で分けられる。



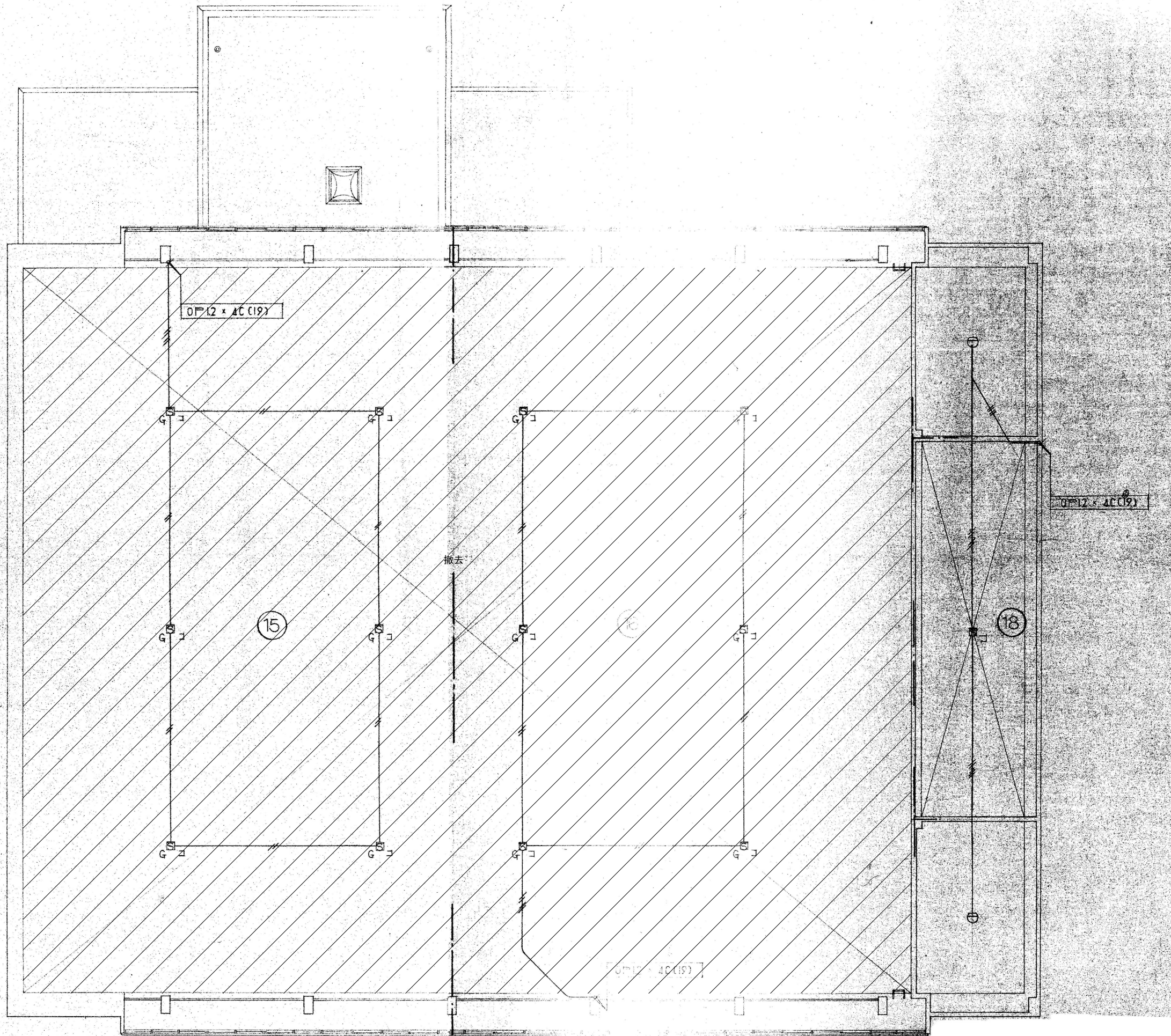


ギャラリー 平面図 縮尺 1/100

	<p>一級建築士事務所 広島県知事 登録 第20(1)2704号</p> <p>佐伯建築設計事務所</p> <p>〒728-0016 広島県三次市四格貴町9-8-8</p> <p>TEL (0824) 64-2844 FAX (0824) 64-3266</p>	<p>一級建築士 第223265号</p> <p>佐伯 晃 志 郎</p>	<p>・構造設計</p> <p>・設備設計</p> <p>工事名</p> <p>八次小学校屋内運動場天井改修工事</p>	<p>図面名称</p> <p>自動火災報知設備 ギャラリー平面図 (改修後)</p>	<p>検 印</p> <p>製 図</p> <p>作成年月日</p> <p>R5.</p> <p>図面番号</p> <p>E-07</p>
--	--	---------------------------------------	--	--	---

Scale=1:100

A2版標準 (A3版縮小率=70.7% 表示縮尺×1/1.414)



2階平面図 SCALE 1:100

A2版標準 (A3版縮小率 70.7% 表示縮尺 1/1.414)

	<p>一級建築士事務所 広島県知事 登録 第20(1)2704号</p> <p>佐伯建築設計事務所</p> <p>〒728-0016 広島県三次市四格貴町9-8-8</p> <p>TEL (0824) 64-2844 FAX (0824) 64-3266</p>	<p>一級建築士 第223265号</p> <p>佐伯 晃志郎</p>	<p>・構造設計</p> <p>・設備設計</p>	<p>工事名</p> <p>八次小学校屋内運動場天井改修工事</p>	<p>図面名称</p> <p>自動火災報知設備 ギャラリー 平面図 (改修前)</p>	<p>検印</p>	<p>製図</p>	<p>作成年月日</p> <p>R5.</p> <p>図面番号</p> <p>E-09</p>
--	--	-------------------------------------	---------------------------	------------------------------------	---	-----------	-----------	---

Scale=1:100

SAIKI CAD ARCHITECTURE OFFICE																																																												
空調和換気設備	1. 設計用温湿度条件	<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">外 気 条 件</th><th colspan="4">室 内 (調整目標値)</th></tr><tr><th colspan="2">一 般 系 統</th><th colspan="2"></th></tr><tr><th>温度(ＤＢ)</th><th>湿 度</th><th>温度(ＤＢ)</th><th>湿 度</th><th>温度(ＤＢ)</th><th>湿 度</th></tr><tr><td>夏季 34. 9℃</td><td>5 1. 0%</td><td>28. 0℃</td><td>5 0 %</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬季 -0. 2℃</td><td>6 9. 9%</td><td>19. 0℃</td><td>4 0 %</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table>	外 気 条 件		室 内 (調整目標値)				一 般 系 統				温度(ＤＢ)	湿 度	温度(ＤＢ)	湿 度	温度(ＤＢ)	湿 度	夏季 34. 9℃	5 1. 0%	28. 0℃	5 0 %	℃	%	冬季 -0. 2℃	6 9. 9%	19. 0℃	4 0 %	℃	%	2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) 2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) 4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼鋼管(黒管) 5) 蒸気還水 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (ＳＴＰＧ３７０Sch40) 6) 油・油用通気 ・ 配管用炭素鋼鋼管(黒管) 7) 冷媒 ・ 断熱材被覆鋼管 8) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管 (ＳＵＳ３０４) 9) 空調用排水 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管 図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋとする。 トランプの形式はフロードボールド式(床置型) ※ F R P製保温型 1) 厚さ ※ 3. 2mm ・ 4. 5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける 3) ばいじん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 コイル通過後のケーシングに講じる表面結露対策は ※ 不要 ・ 図示による。 風量30, 000m3/minを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。 冷温水管の接続部(往・還)にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。 (定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形) 床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インパター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外渡配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。(エアコン含む) パッケージ形空気調和機の記載による。	3. 弁類 4. 空調機用トランプ 5. 銅板製煙道	28. 消音内貼り	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会(冷凍空調機器用材質ガイドライン)による。	29. 機器用基礎	30. 空調用流体の水質基準	31. フィルターの予備品	空気調和機器等又は70φ×100φの装着枚数の100%を予備品(特付)として納める。 70φ×100φは総台数の(・50%・100%)に当たる70φ×予備品(特付)として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。	給 水 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 一般配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB・FVB) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 2) 土間配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB・FVB) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 3) 屋外土中用 ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 水道配水用ポリエチレン管 ・ 水道用ポリエチレン二層管 4) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。 電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、蒸発残留物 1) 公営水道に直結する配管に使用するものの耐圧は、10Kとする。 2) 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は、5Kとする。 3) 給水引込部の(・止水栓 ・ 弁井)は水道事業者指定品とする。 1) 親メーター ※ 借 用 ・ 買取り(・直読 ・ 遠隔表示) 2) 子メーター ※ 買取り ・ 借 用(・直読 ・ 遠隔表示) 現地表示式(直読式)の表示機構は ※ 湿式70φ式 ・ 乾式70φ式 遠隔表示式は(※バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。 1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57) 2) 子メーター用 ※ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品 ・ 定流量弁を定水位調整弁の直前に設置する。 遠隔弁の駆動方式は(※電気式 ・ 機械式)とする。 ※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による 寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による 1) 屋外の水栓は ・ キー式ハンドル 2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 給水栓用配管の接続口を(※設ける ・ 設けない)ものとする。 2槽式の場合は、連通管を設けるものとする。 ※ 別途工事 ・ 本工事 弁井・ガス、散水栓・ガス等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。) (施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)	給 湯 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370-VS) 3) 一般配管用 ・ ※10K ・ 16K 1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次による。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e2・(ハ)・Ⅳによる) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結散水 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鑄鉄製(要部青銅製) ・ ステンレス鑄物製 箱の材質は ※ 銅板製 ・ ステンレス銅板製	消 火 設 備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス ガス事業者の定めによる。 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ ポリエチレン被覆鋼管 ※ 不要 ・ 要(取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要) ・ 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本 ※ 借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 kg ・ 借用 ※ 買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式(・直読 ・ 遠隔表示) 施工方法は標準図(施工72)の(・(a) ・ (b) ・ (c)) 施工方法は標準図(施工73)の(・(a) ・ (b) ・ (c))	ガ ス 設 備	1. 処理種別及び方式 2. その他	・ 小規模合併処理(・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触床方式) ・ 合併処理(・) 図示による。	浄 化 槽 設 備	1. システム構成その他 2. 配管材料	図示による。 1) 一般配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PA) (SGP-FPA) 2) 土間配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) (SGP-FPD) 3) 屋外土中用 ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ※ バルブ式 ・ 直読式 ・ ナイフ仕切弁 ・ 偏心式プラグ弁 ・ バタフライ弁 目幅の有効間隔は(※5mm mm)とする。 構成その他は図示による。	雨 水 利 用 設 備	冷媒の回収方法について	冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は(※本工事 ・ 別途工事)とする。 (1) 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。 ・ 第1種フロン類充填回収業者の登録通知書(都道府県知事登録)の写し ・ 事前確認書の写し ・ 回収依頼書の写し ・ 引取証明書・破壊証明書の写し (2) ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写し	排 水 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 屋内汚水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 2) 屋内雑排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (第1樹まで含む) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 4) 通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)
外 気 条 件		室 内 (調整目標値)																																																										
		一 般 系 統																																																										
温度(ＤＢ)	湿 度	温度(ＤＢ)	湿 度	温度(ＤＢ)	湿 度																																																							
夏季 34. 9℃	5 1. 0%	28. 0℃	5 0 %	℃	%																																																							
冬季 -0. 2℃	6 9. 9%	19. 0℃	4 0 %	℃	%																																																							
6. ばい煙濃度計	1) ばいじん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。	7. 冷却塔	8. ユニット形 空気調和機	9. ファンコイルユニット	10. パッケージ形 空気調和機	11. マルチパッケージ形 空気調和機	12. 集中管理リモコン ・ 個別リモコン	13. 空気清浄装置	14. オイルポンプ	15. 開放形膨張タンク	16. 地下オイルタンク	17. オイルサービスタンク	18. ダクト	19. チャンパー等	20. 吹出口・吸込口の ボックス	21. グリス除去装置	22. 風量測定口	23. 温度計	24. 圧力計	25. ダンパー	26. 定風量・変風量 ユニット	27. 冷温水管等のエア抜き	空気調和・換気設備	28. 消音内貼り	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会(冷凍空調機器用材質ガイドライン)による。	29. 機器用基礎	30. 空調用流体の水質基準	31. フィルターの予備品	空気調和機器等又は70φ×100φの装着枚数の100%を予備品(特付)として納める。 70φ×100φは総台数の(・50%・100%)に当たる70φ×予備品(特付)として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。	給 水 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 一般配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB・FVB) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 2) 土間配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB・FVB) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 3) 屋外土中用 ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 水道配水用ポリエチレン管 ・ 水道用ポリエチレン二層管 4) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。 電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、蒸発残留物 1) 公営水道に直結する配管に使用するものの耐圧は、10Kとする。 2) 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は、5Kとする。 3) 給水引込部の(・止水栓 ・ 弁井)は水道事業者指定品とする。 1) 親メーター ※ 借 用 ・ 買取り(・直読 ・ 遠隔表示) 2) 子メーター ※ 買取り ・ 借 用(・直読 ・ 遠隔表示) 現地表示式(直読式)の表示機構は ※ 湿式70φ式 ・ 乾式70φ式 遠隔表示式は(※バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。 1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57) 2) 子メーター用 ※ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品 ・ 定流量弁を定水位調整弁の直前に設置する。 遠隔弁の駆動方式は(※電気式 ・ 機械式)とする。 ※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による 寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による 1) 屋外の水栓は ・ キー式ハンドル 2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 給水栓用配管の接続口を(※設ける ・ 設けない)ものとする。 2槽式の場合は、連通管を設けるものとする。 ※ 別途工事 ・ 本工事 弁井・ガス、散水栓・ガス等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。) (施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)	給 湯 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370-VS) 3) 一般配管用 ・ ※10K ・ 16K 1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次による。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e2・(ハ)・Ⅳによる) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結散水 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鑄鉄製(要部青銅製) ・ ステンレス鑄物製 箱の材質は ※ 銅板製 ・ ステンレス銅板製	消 火 設 備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス ガス事業者の定めによる。 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ ポリエチレン被覆鋼管 ※ 不要 ・ 要(取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要) ・ 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本 ※ 借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 kg ・ 借用 ※ 買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式(・直読 ・ 遠隔表示) 施工方法は標準図(施工72)の(・(a) ・ (b) ・ (c)) 施工方法は標準図(施工73)の(・(a) ・ (b) ・ (c))	ガ ス 設 備	1. 処理種別及び方式 2. その他	・ 小規模合併処理(・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触床方式) ・ 合併処理(・) 図示による。	浄 化 槽 設 備	1. システム構成その他 2. 配管材料	図示による。 1) 一般配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PA) (SGP-FPA) 2) 土間配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) (SGP-FPD) 3) 屋外土中用 ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ※ バルブ式 ・ 直読式 ・ ナイフ仕切弁 ・ 偏心式プラグ弁 ・ バタフライ弁 目幅の有効間隔は(※5mm mm)とする。 構成その他は図示による。	雨 水 利 用 設 備	冷媒の回収方法について	冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は(※本工事 ・ 別途工事)とする。 (1) 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。 ・ 第1種フロン類充填回収業者の登録通知書(都道府県知事登録)の写し ・ 事前確認書の写し ・ 回収依頼書の写し ・ 引取証明書・破壊証明書の写し (2) ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写し	排 水 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 屋内汚水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 2) 屋内雑排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (第1樹まで含む) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 4) 通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)										
3. 弁類	1) 厚さ ※ 3. 2mm ・ 4. 5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける 3) ばいじん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。	4. 空調機用トランプ	5. 銅板製煙道	6. ばい煙濃度計	7. 冷却塔	8. ユニット形 空気調和機	9. ファンコイルユニット	10. パッケージ形 空気調和機	11. マルチパッケージ形 空気調和機	12. 集中管理リモコン ・ 個別リモコン	13. 空気清浄装置	14. オイルポンプ	15. 開放形膨張タンク	16. 地下オイルタンク	17. オイルサービスタンク	18. ダクト	19. チャンパー等	20. 吹出口・吸込口の ボックス	21. グリス除去装置	22. 風量測定口	23. 温度計	24. 圧力計	25. ダンパー	26. 定風量・変風量 ユニット	27. 冷温水管等のエア抜き	空気調和・換気設備	28. 消音内貼り	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会(冷凍空調機器用材質ガイドライン)による。	29. 機器用基礎	30. 空調用流体の水質基準	31. フィルターの予備品	空気調和機器等又は70φ×100φの装着枚数の100%を予備品(特付)として納める。 70φ×100φは総台数の(・50%・100%)に当たる70φ×予備品(特付)として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。	給 水 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 一般配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB・FVB) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 2) 土間配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB・FVB) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 3) 屋外土中用 ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 水道配水用ポリエチレン管 ・ 水道用ポリエチレン二層管 4) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。 電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、蒸発残留物 1) 公営水道に直結する配管に使用するものの耐圧は、10Kとする。 2) 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は、5Kとする。 3) 給水引込部の(・止水栓 ・ 弁井)は水道事業者指定品とする。 1) 親メーター ※ 借 用 ・ 買取り(・直読 ・ 遠隔表示) 2) 子メーター ※ 買取り ・ 借 用(・直読 ・ 遠隔表示) 現地表示式(直読式)の表示機構は ※ 湿式70φ式 ・ 乾式70φ式 遠隔表示式は(※バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。 1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57) 2) 子メーター用 ※ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品 ・ 定流量弁を定水位調整弁の直前に設置する。 遠隔弁の駆動方式は(※電気式 ・ 機械式)とする。 ※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による 寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による 1) 屋外の水栓は ・ キー式ハンドル 2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 給水栓用配管の接続口を(※設ける ・ 設けない)ものとする。 2槽式の場合は、連通管を設けるものとする。 ※ 別途工事 ・ 本工事 弁井・ガス、散水栓・ガス等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。) (施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)	給 湯 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370-VS) 3) 一般配管用 ・ ※10K ・ 16K 1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次による。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e2・(ハ)・Ⅳによる) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結散水 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鑄鉄製(要部青銅製) ・ ステンレス鑄物製 箱の材質は ※ 銅板製 ・ ステンレス銅板製	消 火 設 備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス ガス事業者の定めによる。 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ ポリエチレン被覆鋼管 ※ 不要 ・ 要(取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要) ・ 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本 ※ 借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 kg ・ 借用 ※ 買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式(・直読 ・ 遠隔表示) 施工方法は標準図(施工72)の(・(a) ・ (b) ・ (c)) 施工方法は標準図(施工73)の(・(a) ・ (b) ・ (c))	ガ ス 設 備	1. 処理種別及び方式 2. その他	・ 小規模合併処理(・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触床方式) ・ 合併処理(・) 図示による。	浄 化 槽 設 備	1. システム構成その他 2. 配管材料	図示による。 1) 一般配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PA) (SGP-FPA) 2) 土間配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) (SGP-FPD) 3) 屋外土中用 ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ※ バルブ式 ・ 直読式 ・ ナイフ仕切弁 ・ 偏心式プラグ弁 ・ バタフライ弁 目幅の有効間隔は(※5mm mm)とする。 構成その他は図示による。	雨 水 利 用 設 備	冷媒の回収方法について	冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は(※本工事 ・ 別途工事)とする。 (1) 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。 ・ 第1種フロン類充填回収業者の登録通知書(都道府県知事登録)の写し ・ 事前確認書の写し ・ 回収依頼書の写し ・ 引取証明書・破壊証明書の写し (2) ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写し	排 水 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 屋内汚水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 2) 屋内雑排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (第1樹まで含む) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 4) 通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)							
6. ばい煙濃度計	1) ばいじん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。	7. 冷却塔	8. ユニット形 空気調和機	9. ファンコイルユニット	10. パッケージ形 空気調和機	11. マルチパッケージ形 空気調和機	12. 集中管理リモコン ・ 個別リモコン	13. 空気清浄装置	14. オイルポンプ	15. 開放形膨張タンク	16. 地下オイルタンク	17. オイルサービスタンク	18. ダクト	19. チャンパー等	20. 吹出口・吸込口の ボックス	21. グリス除去装置	22. 風量測定口	23. 温度計	24. 圧力計	25. ダンパー	26. 定風量・変風量 ユニット	27. 冷温水管等のエア抜き	空気調和・換気設備	28. 消音内貼り	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会(冷凍空調機器用材質ガイドライン)による。	29. 機器用基礎	30. 空調用流体の水質基準	31. フィルターの予備品	空気調和機器等又は70φ×100φの装着枚数の100%を予備品(特付)として納める。 70φ×100φは総台数の(・50%・100%)に当たる70φ×予備品(特付)として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。	給 水 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 一般配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB・FVB) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 2) 土間配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB・FVB) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 3) 屋外土中用 ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 水道配水用ポリエチレン管 ・ 水道用ポリエチレン二層管 4) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。 電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、蒸発残留物 1) 公営水道に直結する配管に使用するものの耐圧は、10Kとする。 2) 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は、5Kとする。 3) 給水引込部の(・止水栓 ・ 弁井)は水道事業者指定品とする。 1) 親メーター ※ 借 用 ・ 買取り(・直読 ・ 遠隔表示) 2) 子メーター ※ 買取り ・ 借 用(・直読 ・ 遠隔表示) 現地表示式(直読式)の表示機構は ※ 湿式70φ式 ・ 乾式70φ式 遠隔表示式は(※バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。 1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57) 2) 子メーター用 ※ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品 ・ 定流量弁を定水位調整弁の直前に設置する。 遠隔弁の駆動方式は(※電気式 ・ 機械式)とする。 ※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による 寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による 1) 屋外の水栓は ・ キー式ハンドル 2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 給水栓用配管の接続口を(※設ける ・ 設けない)ものとする。 2槽式の場合は、連通管を設けるものとする。 ※ 別途工事 ・ 本工事 弁井・ガス、散水栓・ガス等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。) (施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)	給 湯 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370-VS) 3) 一般配管用 ・ ※10K ・ 16K 1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次による。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e2・(ハ)・Ⅳによる) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結散水 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鑄鉄製(要部青銅製) ・ ステンレス鑄物製 箱の材質は ※ 銅板製 ・ ステンレス銅板製	消 火 設 備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス ガス事業者の定めによる。 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ ポリエチレン被覆鋼管 ※ 不要 ・ 要(取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要) ・ 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本 ※ 借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 kg ・ 借用 ※ 買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式(・直読 ・ 遠隔表示) 施工方法は標準図(施工72)の(・(a) ・ (b) ・ (c)) 施工方法は標準図(施工73)の(・(a) ・ (b) ・ (c))	ガ ス 設 備	1. 処理種別及び方式 2. その他	・ 小規模合併処理(・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触床方式) ・ 合併処理(・) 図示による。	浄 化 槽 設 備	1. システム構成その他 2. 配管材料	図示による。 1) 一般配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PA) (SGP-FPA) 2) 土間配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) (SGP-FPD) 3) 屋外土中用 ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ※ バルブ式 ・ 直読式 ・ ナイフ仕切弁 ・ 偏心式プラグ弁 ・ バタフライ弁 目幅の有効間隔は(※5mm mm)とする。 構成その他は図示による。	雨 水 利 用 設 備	冷媒の回収方法について	冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は(※本工事 ・ 別途工事)とする。 (1) 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。 ・ 第1種フロン類充填回収業者の登録通知書(都道府県知事登録)の写し ・ 事前確認書の写し ・ 回収依頼書の写し ・ 引取証明書・破壊証明書の写し (2) ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写し	排 水 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 屋内汚水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 2) 屋内雑排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (第1樹まで含む) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 4) 通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)										
3. 弁類	1) 厚さ ※ 3. 2mm ・ 4. 5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける 3) ばいじん量測定口(80φ×2) ※																																																											



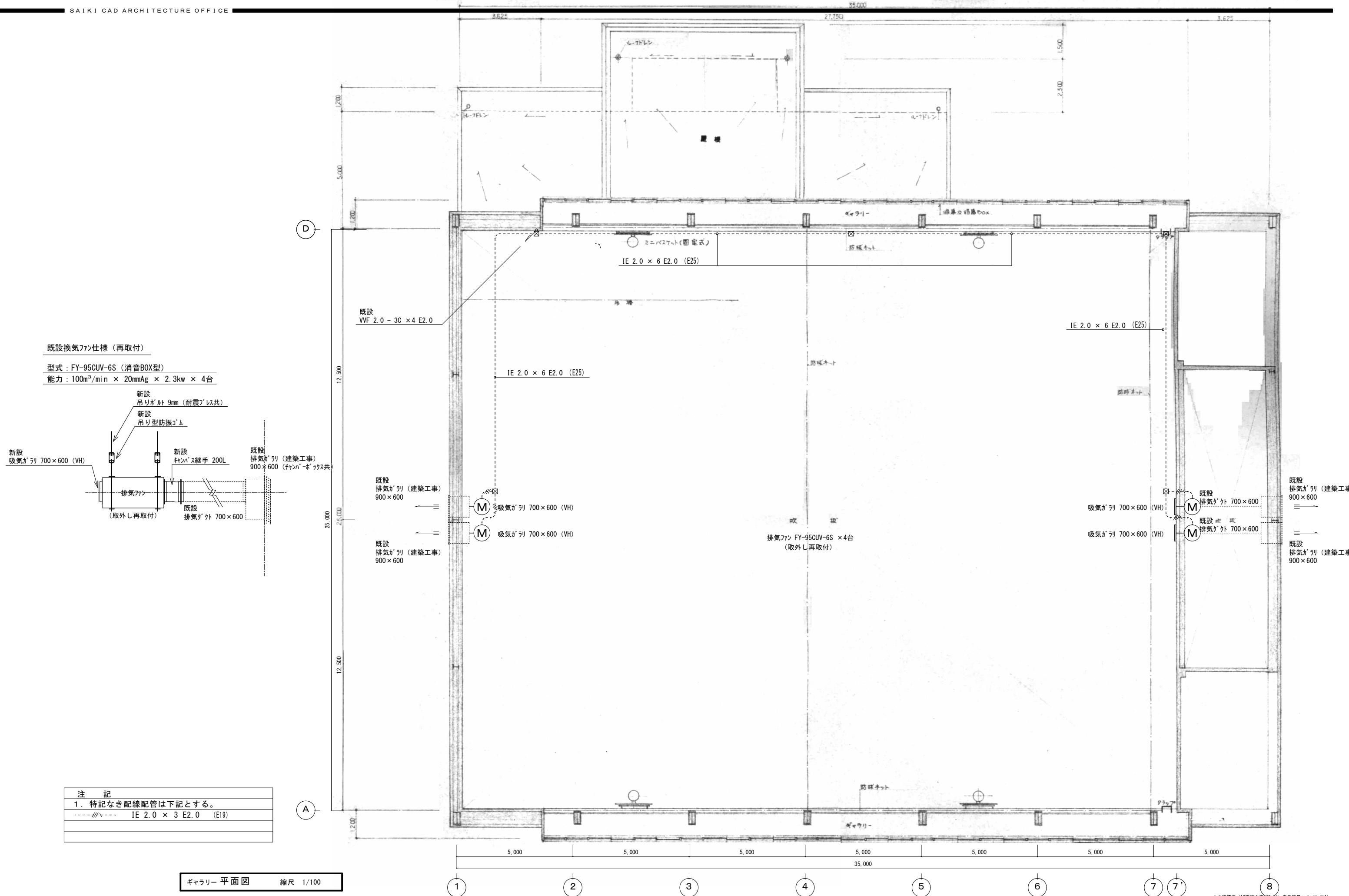
• 構造設計
• 設備設計

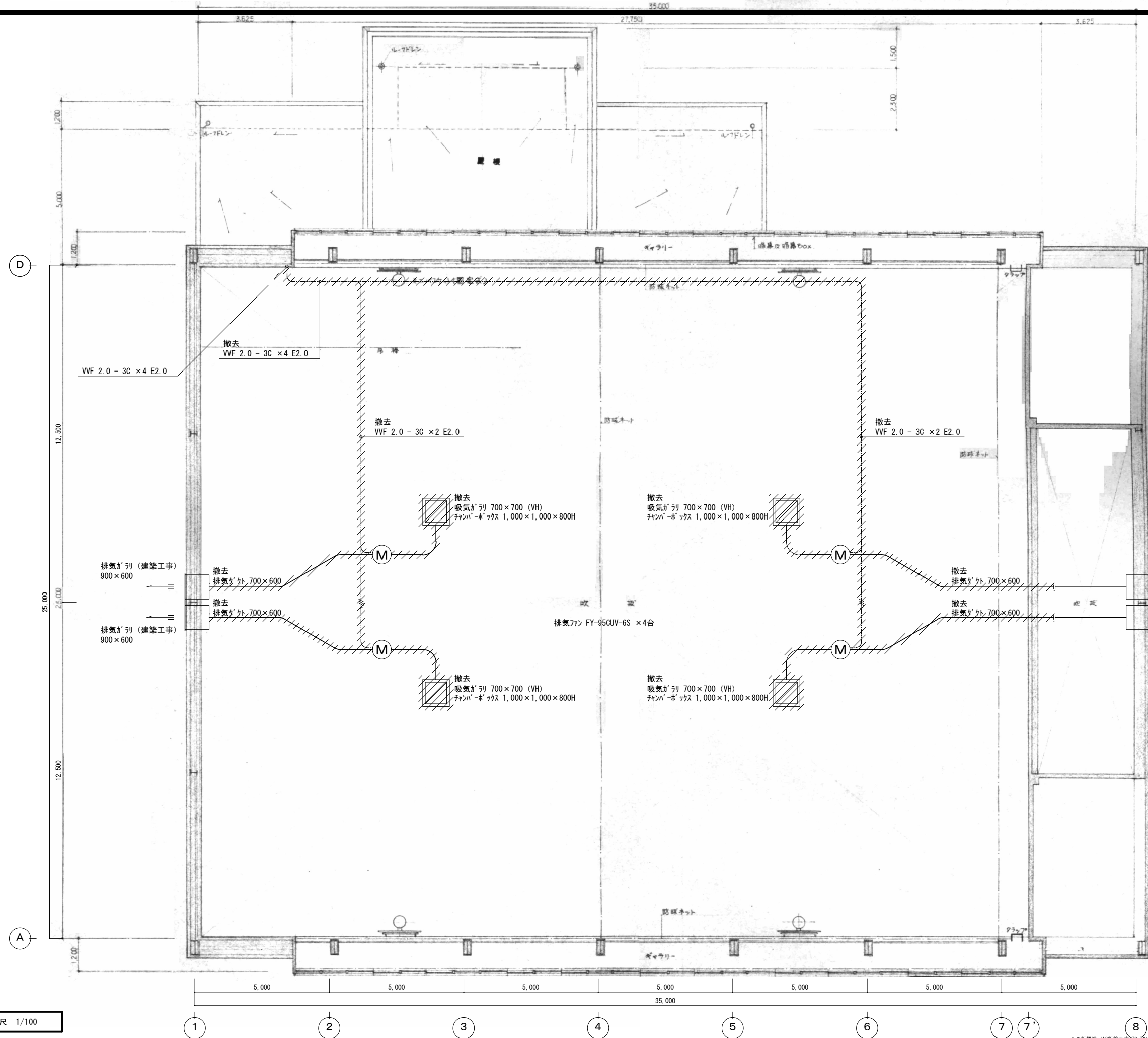
図面名称 換気設備 ギャラリー 平面図（改修後）

検 印	製 図	作成年月日
		R 5
		図面番号
		M-03

Scale=1:100

M-03





ギャラリー 平面図 縮尺 1/100